

13. うまく意思表示できない利用者に、外出等への意欲を促すことが必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助ができると思いますか。

障害種別	職種	回 答					度数
		施設ケア	施設ケア どちらかといえば	どちらともいえない	地域ケア どちらかといえば	地域ケア	
身体障害	施設長	16 16.5%	27 27.8%	33 34.0%	14 14.4%	7 7.2%	97 100.0%
	職員	13 12.9%	35 34.7%	32 31.7%	19 18.8%	2 2.0%	101 100.0%
知的障害	施設長	22 17.5%	36 28.6%	34 27.0%	28 22.2%	6 4.8%	126 100.0%
	職員	15 11.2%	35 26.1%	47 35.1%	22 16.4%	15 11.2%	134 100.0%
精神障害	施設長	7 7.7%	16 17.6%	31 34.1%	23 25.3%	14 15.4%	91 100.0%
	職員	8 7.5%	23 21.7%	40 37.7%	21 19.8%	14 13.2%	106 100.0%
合 計		81 12.4%	172 26.3%	217 33.1%	127 19.4%	58 8.9%	655 100.0%

身体障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 44.3%、職員 47.6%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 21.6%、職員 20.8%であり、ともに「施設ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 46.1%、職員 37.3%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 27.0%、職員 27.6%であり、ともに「施設ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 25.3%、職員 29.2%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 40.7%、職員 33.0%であり、ともに「地域ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

14. 社会生活に必要な知識・技能(公共マナーや社会生活の具体的技術等)を、利用者が習得していることが必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助ができると思いますか。

障害種別	職種	回			答		度数
		施設ケア	施設ケア どちらかといえば	どちらかといえ ない	地域ケア どちらかといえ ば	地域ケア	
身体障害	施設長	8 8.2%	11 11.3%	30 30.9%	35 36.1%	13 13.4%	97 100.0%
	職員	7 6.9%	18 17.8%	37 36.6%	31 30.7%	8 7.9%	101 100.0%
知的障害	施設長	13 10.3%	25 19.8%	25 19.8%	47 37.3%	16 12.7%	126 100.0%
	職員	10 7.5%	17 12.7%	33 24.6%	47 35.1%	27 20.1%	134 100.0%
精神障害	施設長	8 8.8%	14 15.4%	17 18.7%	29 31.9%	23 25.3%	91 100.0%
	職員	4 3.8%	13 12.4%	35 33.3%	28 26.7%	25 23.8%	105 100.0%
合計		50 7.6%	98 15.0%	177 27.1%	217 33.2%	112 17.1%	654 100.0%

身体障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 19.5%、職員 24.7%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 49.5%、職員 38.6%であり、ともに「地域ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 30.1%、職員 20.2%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 50.0%、職員 55.2%であり、ともに「地域ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 24.2%、職員 16.2%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 57.2%、職員 50.5%であり、ともに「地域ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

15. 利用者が、地域住民との交流の機会をより多くもつことが必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助ができると思いますか。

障害種別	職種	回			答		度数
		施設ケア	施設ケア どちらかといえば	どちらともいえない	地域ケア どちらかといえば	地域ケア	
身体障害	施設長	10 10.3%	5 5.2%	20 20.6%	42 43.3%	20 20.6%	97 100.0%
	職員	3 3.0%	9 8.9%	22 21.8%	49 48.5%	18 17.8%	101 100.0%
知的障害	施設長	8 6.3%	16 12.7%	20 15.9%	57 45.2%	25 19.8%	126 100.0%
	職員	5 3.7%	8 6.0%	33 24.6%	53 39.6%	35 26.1%	134 100.0%
精神障害	施設長	4 4.4%	8 8.9%	11 12.2%	40 44.4%	27 30.0%	90 100.0%
	職員	1 1.0%	5 4.8%	25 23.8%	40 38.1%	34 32.4%	105 100.0%
合計		31 4.7%	51 7.8%	131 20.1%	281 43.0%	159 24.3%	653 100.0%

身体障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 15.5%、職員 11.9%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 63.9%、職員 66.3%であり、ともに「地域ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 19.0%、職員 9.7%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 65.0%、職員 65.7%であり、ともに「地域ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 13.3%、職員 5.8%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 74.4%、職員 70.5%であり、ともに「地域ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

16. 障害をもつ人への、地域住民の理解・協力を促進することが必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助ができると思いますか。

障害種別	職種	回			答		度数
		施設ケア	施設ケア どちらかといえば	どちらともいえない	地域ケア どちらかといえば	地域ケア	
身体障害	施設長	12 12.4%	8 8.2%	27 27.8%	34 35.1%	16 16.5%	97 100.0%
	職員	4 4.0%	18 17.8%	31 30.7%	33 32.7%	15 14.9%	101 100.0%
知的障害	施設長	8 6.3%	17 13.5%	41 32.5%	40 31.7%	20 15.9%	126 100.0%
	職員	7 5.2%	18 13.4%	32 23.9%	51 38.1%	26 19.4%	134 100.0%
精神障害	施設長	5 5.5%	7 7.7%	18 19.8%	42 46.2%	19 20.9%	91 100.0%
	職員	2 1.9%	6 5.7%	36 34.3%	38 36.2%	23 21.9%	105 100.0%
合計		38 5.8%	74 11.3%	185 28.3%	238 36.4%	119 18.2%	654 100.0%

身体障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 20.6%、職員 21.8%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 51.6%、職員 47.6%であり、ともに「地域ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 19.8%、職員 18.6%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 47.6%、職員 57.5%であり、ともに「地域ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 13.2%、職員 7.6%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 67.1%、職員 48.1%であり、ともに「地域ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

17. もしも地域住民と利用者の間に何らかのトラブルが発生し、適切な対処が必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助ができると思いますか。

障害種別	職種	回 答					度 数
		施設ケア	どちらかといえば施設ケア	どちらともいえない	どちらかといえば地域ケア	地域ケア	
身体障害	施設長	17 17.5%	18 18.6%	35 36.1%	21 21.6%	6 6.2%	97 100.0%
	職員	7 6.9%	31 30.7%	38 37.6%	18 17.8%	7 6.9%	101 100.0%
知的障害	施設長	20 16.0%	39 31.2%	45 36.0%	16 12.8%	5 4.0%	125 100.0%
	職員	16 11.9%	40 29.9%	43 32.1%	21 15.7%	14 10.4%	134 100.0%
精神障害	施設長	10 11.1%	10 11.1%	35 38.9%	22 24.4%	13 14.4%	90 100.0%
	職員	3 2.9%	13 12.4%	46 43.8%	25 23.8%	18 17.1%	105 100.0%
合 計		73 11.2%	151 23.2%	242 37.1%	123 18.9%	63 9.7%	652 100.0%

身体障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 36.1%、職員 37.6%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 27.8%、職員 24.7%であり、ともに「施設ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 47.2%、職員 41.8%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 16.8%、職員 26.1%であり、ともに「施設ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設では、「施設ケア」「どちらかといえば施設ケア」の合計が、施設長 22.2%、職員 15.3%、「地域ケア」「どちらかといえば地域ケア」の合計が、施設長 38.8%、職員 40.9%であり、ともに「地域ケア」寄りの回答割合のほうが高かった。

### Ⅲ. 施設ケアと地域ケアの職員体制の比較 施設長のみに質問

小集団の地域型ケアにおいて、大集団施設のようなチームワーク的援助体制がどの程度可能か尋ねた。

1. 適材適所の職員配置や、配置転換をおこなうことは、現状における地域ケアではどの程度可能だと思いますか。

障害種別	回 答					合 計	平均値
	可能である (5点)	どちらかといえば可能である (4点)	どちらかといえば不可能である (3点)	不可能である (2点)	不可能である (1点)		
身体障害	3 3.1%	15 15.6%	29 30.2%	44 45.8%	5 5.2%	96 100.0%	2.66
知的障害	1 0.8%	22 17.6%	44 35.2%	43 34.4%	15 12.0%	125 100.0%	2.61
精神障害	6 6.8%	19 21.6%	27 30.7%	31 35.2%	5 5.7%	88 100.0%	2.89
合 計	10 3.2%	56 18.1%	100 2.4%	118 38.2%	25 8.1%	309 100.0%	2.72

**身体障害者施設**の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が18.7%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が51.0%であり、「**不可能である**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

**知的障害者施設**の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が18.4%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が46.4%であり、「**不可能である**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

**精神障害者施設**の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が28.4%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が40.9%であり、「**不可能である**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

2. 一人の利用者に対し、いろいろな個性や年齢・性別・経験をもつ援助者が関わることは、現状における地域ケアではどの程度可能だと思いますか。

障害種別	回 答					合 計	平均値
	(5) 可能である	(4) どちらかといえば可能である	(3) どちらかといえば不可能である	(2) 不可能である	(1) 不可能である		
身体障害	4 4.2%	26 27.1%	24 25.0%	36 37.5%	6 6.3%	96 100.0%	2.85
知的障害	2 1.6%	28 22.2%	45 35.7%	38 30.2%	13 10.3%	126 100.0%	2.75
精神障害	6 6.7%	26 28.9%	26 28.9%	27 30.0%	5 5.6%	90 100.0%	3.01
合 計	12 7.7%	80 25.6%	95 30.4%	101 32.4%	24 7.7%	312 100.0%	2.87

**身体障害者施設**の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が31.3%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が43.8%であり、「**不可能である**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

**知的障害者施設**の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が23.8%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が40.5%であり、「**不可能である**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

**精神障害者施設**の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が33.3%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が35.6%であり、「**不可能である**」という傾向の回答割合のほうが、やや多かった。

3. 対応が困難なケースについて、職場内で検討会を開くなどの対応をすることは、現状における地域ケアではどの程度可能だと思いますか。

障害種別	回 答					合 計	平均得点
	可能である (5点)	どちらかといえば 可能である (4点)	どちらかといえない (3点)	どちらかといえば 不可能である (2点)	不可能である (1点)		
身体障害	10 10.4%	25 26.0%	31 32.3%	26 27.1%	4 4.2%	96 100.0%	3.11
知的障害	16 12.8%	48 38.4%	32 25.6%	24 19.2%	5 4.0%	125 100.0%	3.37
精神障害	26 29.2%	39 43.8%	18 20.2%	5 5.6%	1 1.1%	89 100.0%	3.94
合 計	52 16.8%	112 36.1%	81 26.1%	55 17.7%	10 3.2%	310 100.0%	3.47

身体障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が36.4%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が31.3%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が51.2%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が23.2%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が73.0%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が6.7%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。



4. 援助内容や利用者の情報について、職員間で円滑な意思疎通をはかることは、現状における地域ケアではどの程度可能だと思いますか。

障害種別	回 答					合 計	平均得点
	可能である (5点)	可能である (4点)	どちらかといえば 可能である (3点)	どちらかといえば 不可能である (2点)	不可能である (1点)		
身体障害	10 10.4%	30 31.3%	33 34.4%	20 20.8%	3 3.1%	96 100.0%	3.25
知的障害	11 8.8%	49 39.2%	39 31.2%	21 16.8%	5 4.0%	125 100.0%	3.32
精神障害	28 31.1%	41 45.6%	14 15.6%	7 7.8%	0 0.0%	90 100.0%	4.00
合 計	49 15.8%	120 38.6%	86 27.7%	48 15.4%	8 2.6%	311 100.0%	3.52

身体障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が41.7%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が23.9%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が48.0%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が20.8%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が76.7%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が7.8%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

5. ある援助者の援助内容に、不適切な点がないか他の援助者がチェックすることは、現状における地域ケアではどの程度可能だと思いますか。

障害種別	回 答					合 計	平均得点
	(5点) 可能である	(4点) どちらかといえば可能である	(3点) どちらともいえない	(2点) 不可能である	(1点) 不可能である		
身体障害	8 8.4%	22 23.2%	32 33.7%	28 29.5%	5 5.3%	95 100.0%	3.00
知的障害	7 5.6%	43 34.4%	39 31.2%	28 22.4%	8 6.4%	125 100.0%	3.10
精神障害	11 12.2%	41 45.6%	25 27.8%	10 11.1%	3 3.3%	90 100.0%	3.52
合 計	26 8.4%	106 34.2%	96 31.0%	66 21.3%	16 5.2%	310 100.0%	3.21

**身体障害者施設**の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が31.6%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が34.8%であり、「不可能である」という傾向の回答割合のほうが、やや多かった。

**知的障害者施設**の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が40.0%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が28.8%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

**精神障害者施設**の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が57.8%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が14.4%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

6. 独力では対応できない援助場面において、同僚や上司から適切な助力や助言を受けることは、現状における地域ケアではどの程度可能だと思いますか。

障害種別	回 答					合 計	平均得点
	可能である (5点)	可能である どちらかといえば (4点)	どちらかといえば 可能である (3点)	どちらかといえば 不可能である (2点)	不可能である (1点)		
身体障害	10 10.4%	32 33.3%	29 30.2%	23 24.0%	2 2.1%	96 100.0%	3.26
知的障害	10 8.0%	53 42.4%	32 25.6%	25 20.0%	5 4.0%	125 100.0%	3.30
精神障害	22 24.4%	41 45.6%	17 18.9%	8 8.9%	2 2.2%	90 100.0%	3.81
合 計	42 13.5%	126 40.5%	78 25.1%	56 18.0%	9 2.9%	311 100.0%	3.46

身体障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が43.7%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が26.1%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が50.4%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が24.0%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が70.0%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が11.2%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

7. 新人援助者への実地教育(OJT)などの職場内研修を実施することは、現状における地域ケアではどの程度可能だと思いますか。

障害種別	回 答					合 計	平均値
	(5点) 可能である	(4点) どちらかといえば可能である	(3点) どちらかといえば不可能である	(2点) 不可能である	(1点) 不可能である		
身体障害	10 10.4%	32 33.3%	28 29.2%	24 25.0%	2 2.1%	96 100.0%	3.25
知的障害	9 7.2%	47 37.6%	40 32.0%	24 19.2%	5 4.0%	125 100.0%	3.25
精神障害	17 18.9%	33 36.7%	24 26.7%	12 13.3%	4 4.4%	90 100.0%	3.52
合 計	36 11.6%	112 36.0%	92 29.6%	60 19.3%	11 3.5%	311 100.0%	3.34

身体障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が43.7%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が27.1%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が44.8%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が23.2%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が55.6%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が17.7%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

8. 外部研修など、職場外の自己研さんの機会に援助者が参加することは、現状における地域ケアではどの程度可能だと思いますか。

障害種別	回 答					合 計	平均得点
	(5点) 可能である	(4点) どちらかといえば可能である	(3点) どちらかといえば不可能である	(2点) 不可能である	(1点) 不可能である		
身体障害	13 13.5%	31 32.3%	30 31.3%	21 21.9%	1 1.0%	96 100.0%	3.35
知的障害	9 7.2%	60 48.0%	33 26.4%	20 16.0%	3 2.4%	125 100.0%	3.42
精神障害	21 23.3%	39 43.3%	21 23.3%	8 8.9%	1 1.1%	90 100.0%	3.79
合 計	43 13.8%	130 41.8%	84 27.0%	49 15.8%	5 1.6%	311 100.0%	3.52

身体障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が45.8%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が22.9%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が55.2%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が18.4%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が66.6%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が10.0%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

9. 緊急時(急な利用者の入院や、職員の欠勤など)に、職員が即応できる体制にしておくことは、現状における地域ケアではどの程度可能だと思いますか。

障害種別	回 答					合 計	平均値
	可能である (1点)	どちらかといえば可能である (2点)	どちらかといえば不可能である (3点)	不可能である (4点)	不可能である (5点)		
身体障害	7 7.4%	27 28.7%	21 22.3%	35 37.2%	4 4.3%	94 100.0%	2.98
知的障害	10 8.1%	40 32.3%	28 22.6%	35 28.2%	11 8.9%	124 100.0%	3.02
精神障害	14 15.7%	23 25.8%	23 25.8%	23 25.8%	6 6.7%	89 100.0%	3.18
合 計	31 10.1%	90 29.3%	72 23.5%	93 30.3%	21 6.8%	307 100.0%	3.06

身体障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が36.1%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が41.5%であり、「不可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が40.4%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が37.1%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが、やや多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が41.5%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が32.5%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

10. 万一の災害時に備えて、その対応方法について職員間できく合意しておくことは、現状における地域ケアではどの程度可能だと思いますか。

障害種別	回 答					合 計	平均得点
	可能である (5点)	どちらかといえば 可能である (4点)	どちらかといえば 不可能である (3点)	不可能である (2点)	不可能である (1点)		
身体障害	9 9.5%	35 36.8%	28 29.5%	20 21.1%	3 3.2%	95 100.0%	3.28
知的障害	16 12.8%	51 40.8%	31 24.8%	23 18.4%	4 3.2%	125 100.0%	3.42
精神障害	15 16.7%	43 47.8%	18 20.0%	11 12.2%	3 3.3%	90 100.0%	3.62
合 計	40 12.9%	129 41.6%	77 24.8%	54 17.4%	10 3.2%	310 100.0%	3.44

身体障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が46.3%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が24.3%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が53.6%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が21.6%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「可能である」「どちらかといえば可能である」の合計が64.5%、「不可能である」「どちらかというとも不可能である」の合計が15.5%であり、「可能である」という傾向の回答割合のほうが多かった。

#### IV. サービス改善のための有効策について 施設長のみ質問

よりよい援助を行っていくためには、施設運営の観点から見て、現状をどう改善することが有効かについて尋ねた。

##### 1. 身体的健康の維持・ADLの援助のためには、費用(支援費等の額)の増加が有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均得点
	(5点) と思う	(4点) と思う	(3点) どちらかといえば	(2点) そう思わない	(1点) そう思わない		
身体障害	36 37.5%	41 42.7%	13 13.5%	3 3.1%	3 3.1%	96 100.0%	4.08
知的障害	57 45.2%	44 34.9%	18 14.3%	2 1.6%	5 4.0%	126 100.0%	4.16
精神障害	36 40.4%	25 28.1%	19 21.3%	9 10.1%	0 0.0%	89 100.0%	3.99
合 計	129 41.5%	110 35.4%	50 16.1%	14 14.8%	8 2.6%	311 100.0%	4.08

**身体障害者施設**の施設長の場合、「思う」「どちらかといえば思う」の合計が 80.2%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 6.2%であり、「思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

**知的障害者施設**の施設長の場合、「思う」「どちらかといえば思う」の合計が 80.1%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 5.6%であり、「思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

**精神障害者施設**の施設長の場合、「思う」「どちらかといえば思う」の合計が 68.9%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 10.1%であり、「思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。



2. 身体的健康の維持・ADLの援助のためには、援助者の数を増やすことが、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均値
	(3)の そう思う	(4)の どちらかといえば そう思う	(3)の どちらかといえば そう思わない	(2)の そう思わない	(1)の そう思わない		
身体障害	38 39.6%	41 42.7%	15 15.6%	2 2.1%	0 0.0%	96 100.0%	4.20
知的障害	58 46.0%	49 38.9%	16 12.7%	1 0.8%	2 1.6%	126 100.0%	4.27
精神障害	39 43.3%	32 35.6%	16 17.8%	3 3.3%	0 0.0%	90 100.0%	4.19
合 計	135 43.3%	122 39.1%	47 15.1%	6 1.9%	2 0.6%	312 100.0%	4.22

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 82.3%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 2.1%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 84.9%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 2.4%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 78.9%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 3.3%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

3. 身体的健康の維持・ADLの援助のためには、建物の改良や設備機器の充実が、有効であると思  
う。

障害種別	回 答					度 数	平均得点
	(新5) そう思う	(新4) どちらかといえば そう思う	(新3) どちらかといえば そう思わない	(新2) そう思わない	(新1) そう思わない		
身体障害	36 37.5%	38 39.6%	20 20.8%	2 2.1%	0 0.0%	96 100.0%	4.13
知的障害	52 41.3%	47 37.3%	23 18.3%	3 2.4%	1 0.8%	126 100.0%	4.16
精神障害	31 34.4%	30 33.3%	19 21.1%	7 7.8%	3 3.3%	90 100.0%	3.88
合 計	119 38.1%	115 36.9%	62 19.9%	12 3.8%	4 1.3%	312 100.0%	4.06

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 77.1%、「そう  
思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 2.1%であり、「そう思う」という傾向の回答割  
合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 78.6%、「そう  
思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 3.2%であり、「そう思う」という傾向の回答割  
合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 67.7%、「そう  
思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 11.1%であり、「そう思う」という傾向の回答割  
合のほうが多かった。

4. 身体的健康の維持・ADLの援助のためには、援助者の専門性(社会福祉の知識・技術・価値観)の向上が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均得点
	(5点) そう思う	(4点) どちらかといえば そう思う	(3点) どちらかといえば そう思わない	(2点) どちらかといえば そう思わない	(1点) そう思わない		
身体障害	48 50.0%	40 41.7%	7 7.3%	1 1.0%	0 0.0%	96 100.0%	4.11
知的障害	67 53.2%	46 36.5%	11 8.7%	2 1.6%	0 0.0%	126 100.0%	4.41
精神障害	46 51.1%	28 31.1%	11 12.2%	4 4.4%	1 1.1%	90 100.0%	4.27
合 計	161 51.6%	114 36.5%	29 9.3%	7 2.2%	1 0.3%	312 100.0%	4.36

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 91.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 1.0%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 89.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 1.6%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 82.2%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 5.5%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

5. 身体的健康の維持・ADLの援助のためには、施設における、組織構成や資源配分の改善(利用者編成、職員の役割分担など)が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均得点
	「そう思う」 (5点)	「どちらかといえば そう思う」 (4点)	「どちらかといえば そう思わない」 (3点)	「どちらかといえば そう思わない」 (2点)	「そう思わない」 (1点)		
身体障害	33 34.7%	43 45.3%	16 16.8%	2 2.1%	1 1.1%	95 100.0%	4.11
知的障害	48 39.0%	55 44.7%	19 15.4%	1 0.8%	0 0.0%	123 100.0%	4.22
精神障害	37 41.6%	31 34.8%	20 22.5%	1 1.1%	0 0.0%	89 100.0%	4.17
合 計	118 38.4%	129 42.0%	55 17.9%	4 1.3%	1 0.3%	307 100.0%	4.17

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が80.0%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が3.2%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が83.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が0.8%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が76.4%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が1.1%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。